

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組む	自宅で生活していた時と同じように、施設に入っても自由に過ごしてもらう	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに入所前の自宅での暮らし方をアセスメントする できるだけ同じ生活パターンで過ごせる様に、環境を整えて支援する 自由に行動できるように、スピーチロックして動きを止めない(危険のないように留意する) 	12ヶ月
2	23	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している (本人の現状に即した介護計画を作成する)	利用者一人ひとりが自分の意思で行動し、生きがいのある生活が送れるように支援する	<ul style="list-style-type: none"> 日々の関りの中で、利用者の好きな事や得意な事を把握する様に努める 職員が利用者をより知る機会として、「気づきシート」を作成して、介護計画やモニタリングに活かす (マンネリ化していないか見直す) 	12ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組む	重度化した場合の対応について、家族との話し合いの機会を再度設ける	<ul style="list-style-type: none"> 家族に本人の健康状態をお知らせする 現病歴で検査数値が悪化して、治療方法が変わった場合は家族に報告して、一緒に考えてもらう 重度化した場合の自事業所で出来ることを説明する 	12ヶ月
4	49	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努める	コロナ禍の為、外出が規制されているが、少しでも戸外の空気に触れる機会を作る	<ul style="list-style-type: none"> 天気の良い日は、中庭で花や野菜の成長を見に行ったり、収穫しに外に出る機会を作る。 隣接している施設まで散歩し、足腰を動かしてストレスを発散できるようにする。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。